

令和2年度

福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』。」

活用実態把握のサンプリング調査報告書



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

令和2年度福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』。」

活用実態把握のサンプリング調査報告書

1 目的

静岡県社会福祉協議会では、「マイナスイメージではなく、プラスイメージから始まる副読本」というコンセプトのもと、赤い羽根共同募金の助成を受けて、平成26年3月に福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』。」を作成し、令和元年度から増刷して小学校4年生の児童と教員に配付している。

福祉教育副読本の活用実態について、教育の現場の声を把握するとともに先駆的・実践的な事例を収集し、今後の地域福祉教育や地域福祉活動を推進するための参考資料とすることを目的に、サンプリング調査を実施した。

2 対象

- ・ 小学校4年生の担当教員(特別支援学校を含む)
- ・ 全小学校 506校のうち、政令市を除いた比較的人口規模がある市町を対象とし、164校に調査を依頼
- ・ 特別支援学校は4年生が5人以上在籍の16校を対象に調査を依頼

3 調査方法と時期

- ・ 学校へ郵送で依頼
- ・ 調査期間: 令和2年12月16日～令和3年1月20日

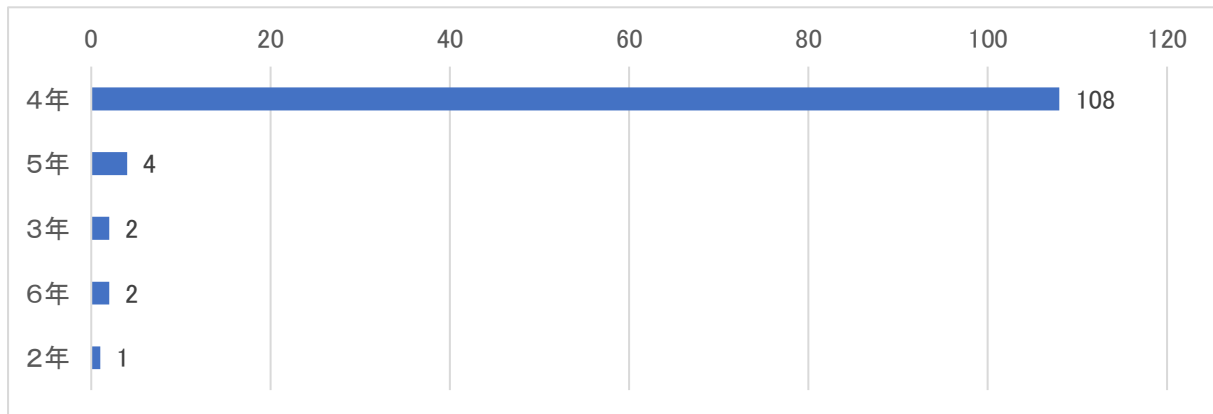
調査結果

(1)貴校の種別について

項目	依頼数	回答数	回答率
小学校	164	102	62.2%
特別支援学校	16	10	62.5%
合計	180	112	62.2%

⇒調査依頼をした約60%の学校から回答が得られた。

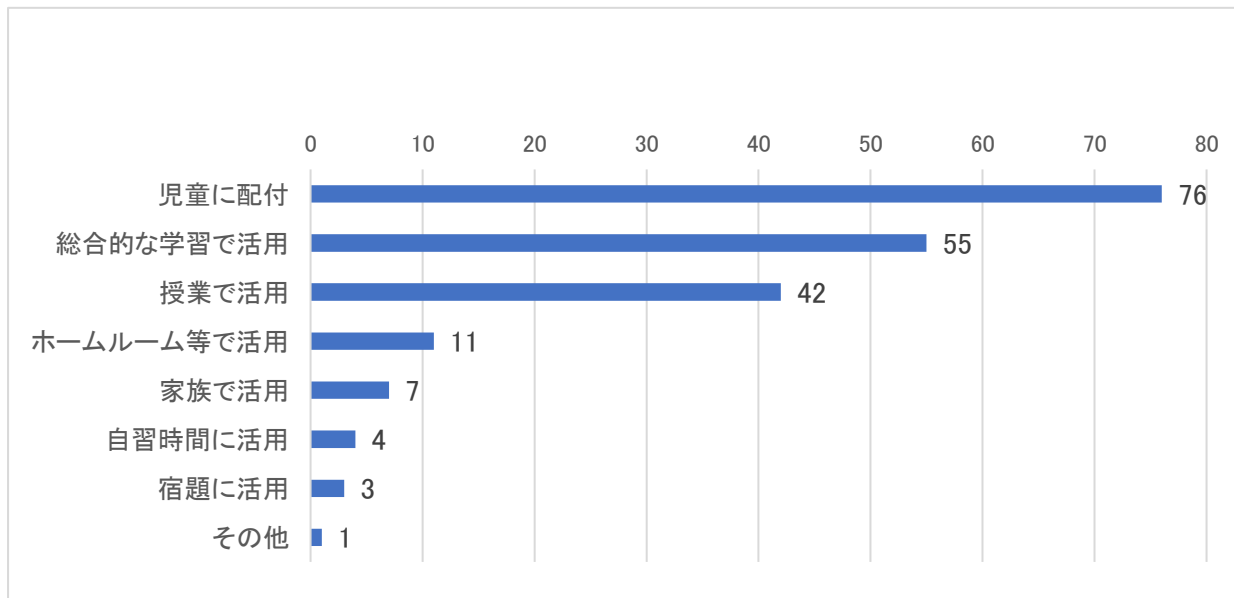
(2)福祉教育副読本「みんながっても同じ、『いのち』。」を活用されている学年を教えてください。(回答数)



⇒4年生については、回答が得られた学校の約96%について、活用されていることが把握できた。一方で他の学年については、活用が一部にとどまっている。

(3)福祉教育副読本「みんながっても同じ、『いのち』。」(青色)の活用状況

①どのように福祉教育副読本を活用しているか教えてください。(回答数)



【授業で活用している回答の内訳】

区分	回答数
道徳	32
その他	4
国語	2
図画工作	1

⇒約 50%の学校で総合的な学習の中の福祉教育で活用されている。また、約 30%の学校で道徳等の授業において、教材として活用されている。

②具体的な活用内容等をお聞かせください(自由記述)

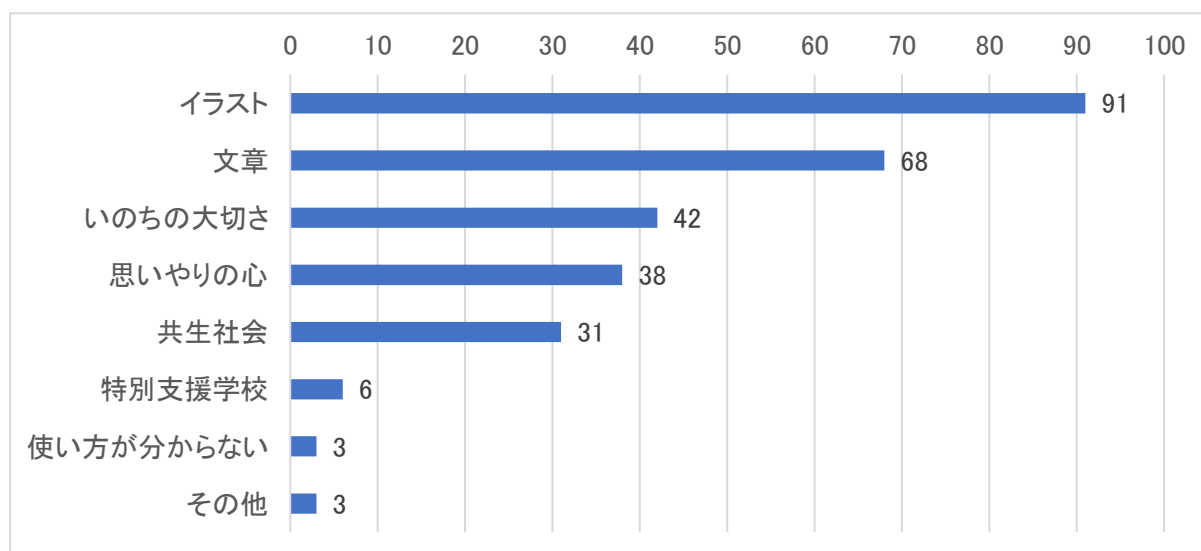
- ・ 道徳の授業及び命のテーマとした学習において活用(27 件)
ex 道徳の「公正、公平、社会正義」の内容項目の資料を扱う時の終末で活用
命の尊重をテーマとする資料と並行して活用し、命の大切さを感じることができた
- ・ 総合的な学習において活用(23 件)
ex 学習テーマ「ふくしてなに？」の取り組みで、障害の有無といった特別なことではなく自分たちを含めみんなの立場、思いを考える資料(根拠)として引用した。
総合的な学習で一年を通して福祉教育を行っている。高齢者のことを学んだ際、この冊子の「あそぶ」や「まなぶ」聴覚障害の方たちとの交流の前に「つたえる」ページをみんなで読んだ。
- ・ 高齢者、障害のある方、外国の方等、多様な方がいることの理解や福祉体験等に活用(12 件)
ex 総合で「ともに生きる」をテーマに視覚障害者の生活について体験学習をしてきたので、授業のまとめとして「つたえる」を読んだ。
高齢者疑似体験を行ったときや、福祉活動を行う前に学習した。
- ・ 児童に配付し、家庭で読むよう呼びかけたり、学級で読み聞かせをした。(4件)
- ・ 始業前の言語活動の時間や授業の最初に担任が読み聞かせをし、テーマについて考える機会をつくった。(3件)
- ・ 「共に生きる」をテーマにし、子どもたちの考えを書かせた。(3件)
- ・ ページをめくりながら概要を説明した。(2件)
- ・ 全員で読んで感想を伝え合う。(2件)
- ・ 月一度行っている親子読書の日に、保護者や兄弟などと読んでもらうようにした。(2件)
- ・ 子どもたちと授業の中で読んだり、考えたことについて話し合ったりした。
- ・ テキストとして活用。ワークシートを用意して記入。発表。
- ・ 福祉教育読本「いのち」、プログラム集にあるプログラムを参考に授業に取り込む。
- ・ 4年生の福祉の授業「UDについて学ぶ」の際に配付して読み合った。
- ・ パワーポイント版(音声なし)で読み聞かせ後、一番心に残ったこと、自分にできそうなことを記入し、話し合った。
- ・ 映像版を見て、一人一人がじっくりと考え、感想を書いた。そのあと、それぞれの感想を聴き合

い、感じ方の違いに気付いたり、命の大切さを考えたりした。

- ・ 国語「便利ということ」で活用した。
- ・ 社協の方を招いての福祉講座の際、内容を紹介して下さった。
- ・ 授業内容と関連するときに、副読本も一緒に使用したり、子どもの実態に合わせて活用したりしている。
- ・ 全ての内容は難しいが、部分的に言葉をかえながら扱った。
- ・ 特別支援学級では、今年度「福祉」をテーマに総合学習を行ったので、教員の教材研究の参考に活用させていただいた。
- ・ 読み聞かせをし、心に残った所等を問いかけている。
- ・ 副読本の一部「かんじる」「まなぶ」「はたらく」について今まで(普段)考えたことがないだろうと思うことを取りあげ、子どもに考える機会を持たせた。
- ・ 副読本を読みながら、感じたことを伝え合った。
- ・ 高齢者福祉センターのポスターづくりで活用した。
- ・ 学習として、音読したり、「かんじる」の頁について皆の考えを出して並べてみた。
- ・ 「福祉」のイメージをざっくり伝えることができた。
- ・ 福祉集会と関連させて、内容を伝えた。
- ・ 本を読んでの感想を書き、(P.13,14)友達と交流した。その後ろうかに掲示。
- ・ 命の大切さや一人一人が違うこと等、子どもたちは理解していると思うが、実際の行動に現れていないこともあるので、絵を見ながら読み聞かせをした。
- ・ 様々な特性を持った人が共に生活をしていることを知る教材として活用した。
- ・ 来年度、総合的な学習で福祉を学ぶため、今年度は一通り読み、来年度の参考にしよう伝えた。

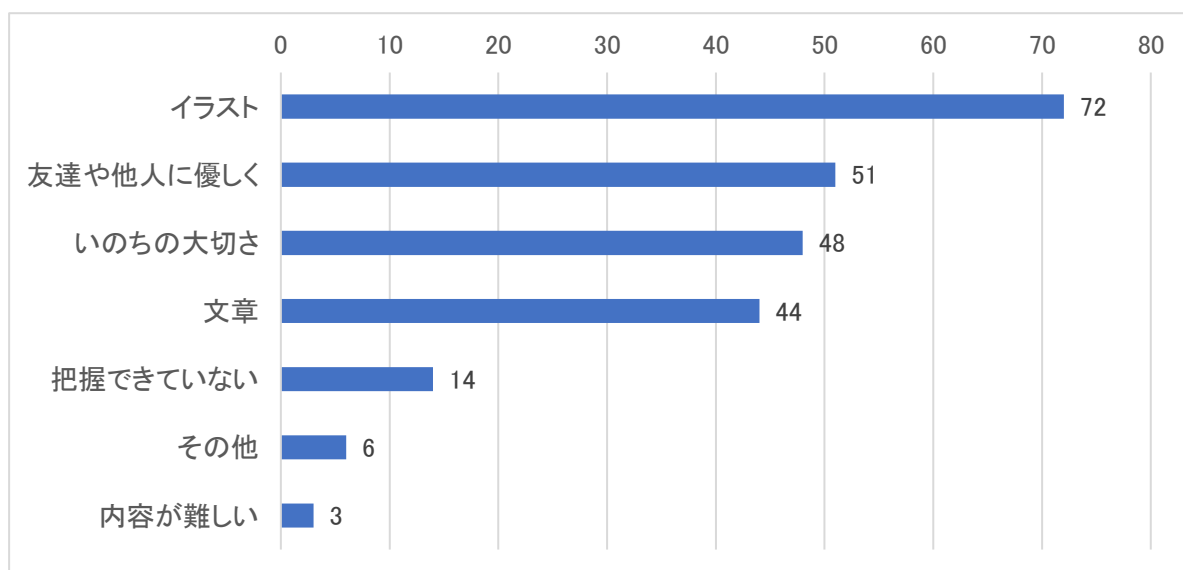
③福祉教育副読本に対する感想を教えてください。(教員)

(回答数)



④福祉教育副読本に対する感想を教えてください。(児童)

(回答数)

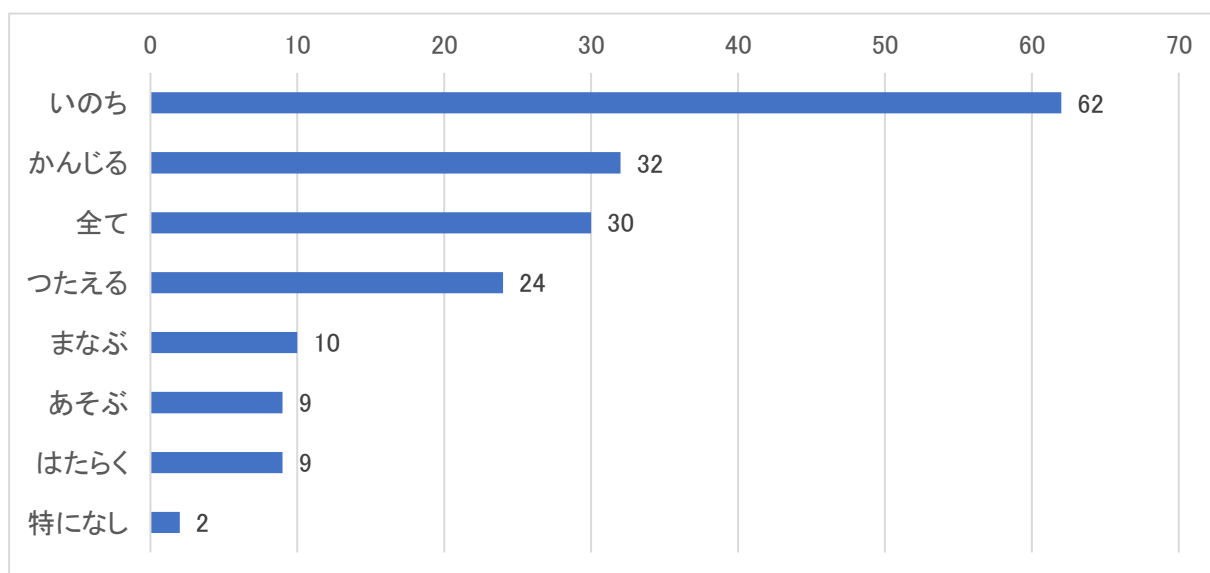


⇒教員、児童とともに「イラストが親しみやすい」「文章が読みやすい」が高い回答が得られ、手に取りやすい副読本となっている。

また、副読本のテーマである「いのちの大切さ」や思いやりの心を育むことに活かされている。

⑤福祉教育副読本で印象に残ったり、活用したテーマを教えてください。

(回答数)

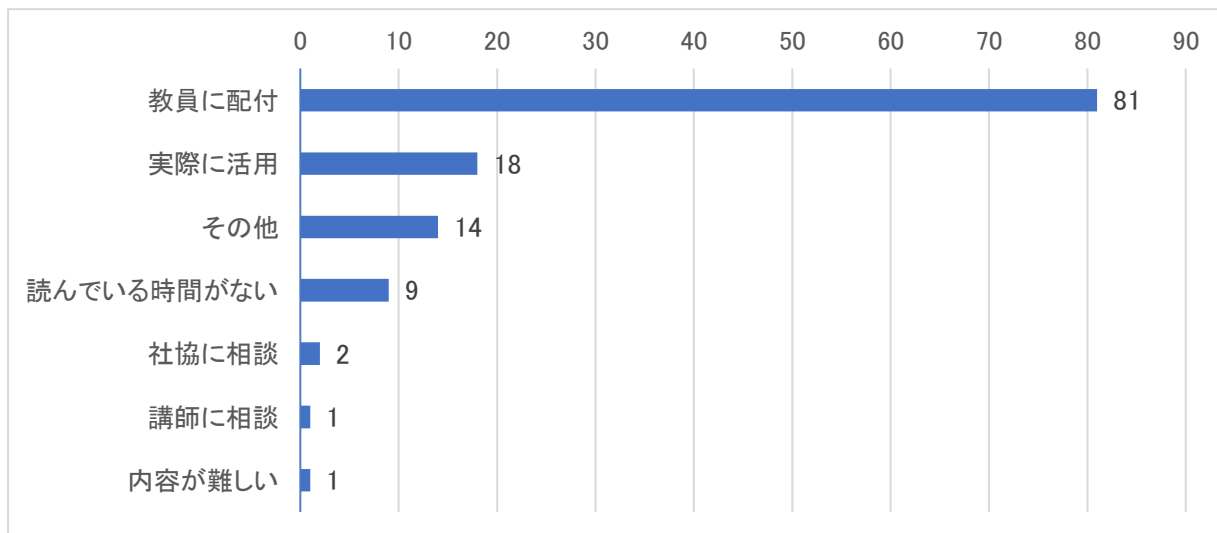


⇒副読本のメインテーマである「いのち」の活用が約 55%で最も多く活用されており、続いて「かんじる」が約 30%の学校で活用されている。

また、全てのテーマを活用した学校が約 27%を占めている。

(4)福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』。」プログラム集(白色)の活用状況。どのように活用しているか教えてください。

(回答数)

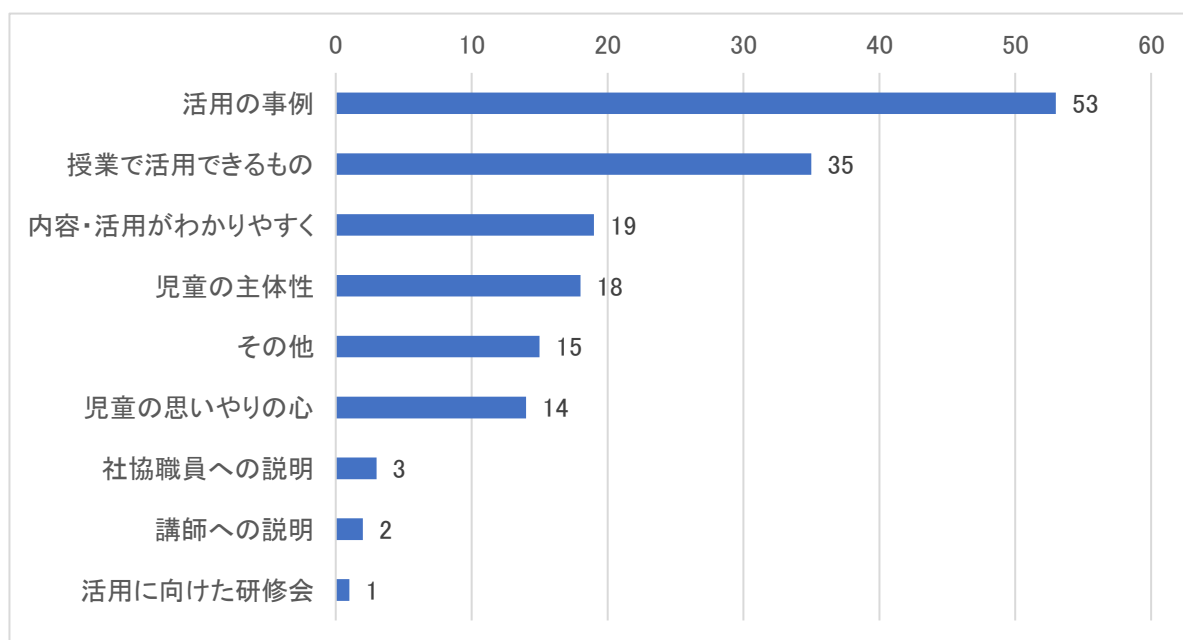


⇒約 70%の教員が福祉教育を検討する資料として活用されるとともに、実際に事例を活用した回答も得られている。

一方で、活用方法を社協や講師に相談した回答は一部にとどまっており、関係者への活用促進が課題である。

(5)今後、福祉教育副読本をリニューアルや別バージョンを作成するにあたって、要望等教えてください。

(回答数)



⇒「活用の事例など教えてほしい」が約50%を占めており、具体的な活用方法を提示していく必要性が考えられる。また、続いて「授業で活用できる内容にしてほしい」が約30%の回答があり、授業と連携させていく必要性も高いと思われる。

(6)今後の福祉教育副読本に要望したいテーマ等がございましたら、お聞かせください。
(自由記述)

- ・ いろいろな障害についてももう少し紹介がされているとうれしい。(視覚、聴覚、肢体不自由など)(5件)
- ・ 現状のもので十分学習できる。(4件)
- ・ LGBTなど、それぞれの性について。(3件)
- ・ SDGsについて。(2件)
- ・ パラスポーツ(ボッチャ、陸上など)(2件)
- ・ あいさつ
- ・ いろいろな立場の人
- ・ コロナウイルスなど感染症と人間の心。偏見や差別。医療関係者の命を守ろうとする姿勢
- ・ いじめについて→相手の良さに目をむけて
- ・ ソーシャルインクルージョンの考え方と具体的な実践例。
- ・ 引き続き「いのち」を取り上げて頂きたい。
- ・ 子どもたちが身近に感じられる内容だったので、一人一人が真剣に考えている様子が見られた。
- ・ 今後も子どもたちが自分のこととして、とらえられる内容の資料等、提案していただくと日々の教育に生かすことができ、ありがたく思う。
- ・ 事例が4年生には難しいものもあった。
- ・ 他者理解寛容
- ・ 特別支援教育に関する内容を取り上げてほしい。
(特に共生社会を目指した社会づくりや、その大切さを理解できる内容)
- ・ 本校の4年生テーマと本冊子の内容はぴったりでした。
- ・ 本校は児童福祉施設に入所している子が多いので、「いのち」の資料は与えなかった。
- ・ どんな状況におかれている子にもやさしい資料があるといいと思う。
- ・ 「認知症ってなあに」の副読本と同じように、「障がいてなあに」や「福祉ってなあに」などの副読本があると活用できると思う。(すでにありましたらすいません)

(7)その他、福祉教育に関する課題、要望等がございましたら、お聞かせください。

(自由記述)

- ・ 市の社協が相談に乗ってくれたり、講話対応などしてくれるので、助かる。(5件)
- ・ 障害のある児童とない児童との相互理解を促進できる内容も加えて頂けると良いと思う。(2件)
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お年寄りとの交流や活用ができなかったことが残念だった。(2件)
- ・ 読み聞かせできるような教材、DVD、動画があると、取り上げやすいと思った。(2件)
- ・ 年間の教育課程が決まっているので、福祉教育を取り上げるのが難しい。(2件)
- ・ 1時間(45分)扱いで完結できる事例が多いとより活用しやすいところですので、今後期待されます。
- ・ コロナウイルス感染のため、様々な対応をしてくださり、子どもたちも福祉教育について学習できた。
- ・ コロナ禍で体験や交流をすることが難しい1年となった。そのような中で「共生」を学ぶ際、各校どのような実践をされているのか教えたいだけとありがたい。
- ・ 動画であっても一時停止しながら教師が解説を加えることもできる。活用プログラム集はありがたいと思う。
- ・ より地域に密着したものを取り扱っていきたいが、なかなか地域にどのような課題があるのかわかっていない。
- ・ 何かそのヒントとなるものを教えていただけるとありがたい。
- ・ 一部の学年に限らず、全ての学年で体験活動を通して福祉教育を行っていくことが必要だと考えているが、子どもの発達段階に応じた具体的な活動内容を教えていただきたい。
- ・ 外部講師をお招きする際、密にならないように、回数が多くならないよう配慮するのが難しかったので、何か基準等、目安になるものがあれば教えてほしい。(人数や会場の広さなど)
- ・ 学校で福祉教育を取り上げ、広げていきたいが、どのように進めたら福祉(委員会)でも良く分からない。
- ・ 学校という集団生活の場で、人との関わり方、思いやりの心を育んでいきたいが、福祉について授業・学習会として扱うとなると、時間数が限られている。
- ・ 活用の事例として道徳など授業での福祉教育の取り上げ方を教えてほしい。
- ・ 教員用の活用プログラム集には、ねらいがあるため「福祉」との関連づけをすることができるが、子どもだけで副読本を読むと「福祉」との結びつきがわかりにくいと感じた。
- ・ 現在の状況下で直接的な人との交流を広げる機会を広げることが難しいと感じた。だからこそ、どうしたら人とつながりを大切にできるか更に(今後も)考えていきたいと思った。
- ・ 今回は、総合の福祉としてパラリンピックの単元学習後、この副読本を使った授業を行ったが、どう位置づけて行うかに悩んだ。
- ・ 今年のような状況(コロナの流行)の時、外部との交流が難しくなる。そのような時でも子どもたちの学びを充実させる手立て等を教えていただけるとうれしい。
- ・ 今年度、初めて福祉をテーマにした総合学習で社会福祉協議会の方に御協力いただき、と

でも良い学びができたので、各地区社協でどんな活動や授業、講師の紹介がしてもらえるか、一覧で出ていると、より計画的に授業が展開できると思う。

- ・ 子どもにとって親しみやすい色やイラストを使ってあってとても良かった。
- ・ 時代の流れによって、交流の仕方も変わってくるので考えていきたい。
- ・ 人権教育とタイアップして福祉を考えていけばよいのではないだろうか。
- ・ 福祉教育と特別支援教育を合わせた形で、共生社会に向けた取り組みが出来るといいなと思う。

福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』」の活用状況の調査票

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

1 アンケート趣旨

静岡県社会福祉協議会では、マイナスではなくプラスから始まる福祉教育を推進するため、赤い羽根共同募金の助成を受けて、福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』」作成し、小学校4年生を対象に配付しています。

本アンケートは、教育現場で福祉教育副読本がどのように活用されているかを把握することで、今後の地域福祉活動や福祉教育の推進を図るために実施いたします。ご提供いただきました情報等は、統計的に処理し、守秘義務を踏まえて福祉教育推進の目的以外には使用することはありません。

2 アンケート内容 ※各設問に☑を入れるか、または自由記述で御回答願います。

※全て複数回答可能です。

(1) 貴校の種別について

小学校 特別支援学校 4年生の児童数 _____人

(2) 福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』」を活用されている学年を教えてください。

1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生

(3) 福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』」(青色)の活用状況

①どのように福祉教育副読本を活用しているか教えてください。

- 児童に配付している 総合的な学習の時間で活用 宿題に活用 自習時間に活用
授業で活用→選択してください (国語 道徳 算数 社会 理科 英語 音楽
図画工作 体育 生活 家庭 その他)
ホームルーム等で読み聞かせ 家族と一緒に読んでもらっている
映像版及びパワーポイント版を児童に見せている
その他 [_____]

②上記設問と関連して、具体的な活用内容等をお聞かせください

[_____]

③福祉教育副読本に対する感想を教えてください。(教員)

- イラストが親しみやすい 文章が読みやすい いのちの大切さが理解できた
思いやりの心が育まれる 使い方がわからない 共生社会の実現に役立つ内容と思う
特別支援学級や特別支援学校の児童との交流等に役立つ
その他 [_____]

④福祉教育副読本に対する感想を教えてください。(児童)

※主な児童生徒の感想をご記入ください

- イラストが親しみやすい 文章が読みやすい いのちの大切さが理解できた
友達や他人に優しく接しようと思った 内容が難しい 児童の感想等把握できてない
その他 [_____]

⑤福祉教育副読本で印象に残ったり、活用したテーマを教えてください。

- いのち つたえる かんじる あそぶ まなぶ はたらく
全てのテーマが良い わからない・特になし

(4)福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』。」プログラム集（白色）の活用状況どのように活用しているか教えてください。

- 教員に配付している 実際にプログラムを活用した 福祉教育の講師に相談した
社会福祉協議会に相談した 読んでいる時間がない 内容が難しい
その他〔 〕

(5)今後、福祉教育副読本をリニューアルや別バージョンを作成するにあたって、要望等教えてください。

- 活用の事例など教えてほしい 内容・活用がわかりやすいものにしてほしい
授業で活用できる内容にしてほしい 児童の思いやりの心が育まれる内容にしてほしい
児童の主体性が育まれる内容にしてほしい 活用に向けて研修会を開催してほしい
社会福祉協議会職員に使い方を説明してほしい 福祉教育講師に使い方を説明してほしい
その他〔 〕

(6)今後の福祉教育副読本に要望したいテーマ等がございましたら、お聞かせください

〔 〕

(7)その他、福祉教育に関する課題、要望等がございましたら、お聞かせください

〔 (例：福祉教育が大切なことはわかっているが、授業数が足りない) 〕

3 差し支えなければ、ご回答者について教えてください。

※本会及び所轄市町社会福祉協議会以外に、本設問の情報を開示することはありません。

学校名	担当学年	福祉教育担当年数	氏名

アンケートは以上です。御協力いただき、ありがとうございます。